

講義名	公衆栄養学概論
開講学年	1年
講義開講時期	前期
開講曜日・時間	水曜日 2時間目, 3時間目
単位	2

担当教員

奥谷 香

授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. わが国の国民の健康状態、栄養・食生活問題の現状と課題、対策を理解し、栄養士として果たすべき役割を理解する。 2. 地域社会のニーズを把握し、適切な公衆栄養プログラムを計画・実施・モニタリング・評価・フィードバックするための知識を習得する。 3. 公衆栄養活動に関連する法律を理解する。
授業の概要	地域、集団の健康・栄養問題を解決につなげるために、わが国の国民の健康状態、栄養・食生活問題の現状と課題、対策を学び、適切な公衆栄養活動やプログラムを計画し、実施するための方法や理論を講義する。
授業形式	講義, パワーポイント (スライド) を使用

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	公衆栄養学の概念-1	公衆栄養学の概念・目的 公衆栄養活動の歴史-1	公衆栄養学とは
2	公衆栄養学の概念-2	公衆栄養活動の歴史-2 公衆栄養活動の現状と問題点	公衆栄養活動の現状
3	わが国の健康・栄養問題の現状と課題-1	国民の健康状態の変遷 少子・高齢化社会の現状と栄養・健康政策	予防医学の概念 合計特殊出生率, 平均寿命, 健康寿命
4	わが国の健康・栄養問題の現状と課題-2	わが国の食生活の変遷	国民健康・栄養調査 食生活の変化
5	わが国の健康・栄養問題の現状と課題-3	食料需給と自給率、現状と課題	食料自給率, 食品ロス, フードマイレージ, 地産地消
6	公衆栄養マネジメント-1	公衆栄養マネジメント, スクリーニング・アセスメント, 公衆栄養プログラムの目標設定と評価	公衆栄養マネジメントサイクル (PDCA), 社会調査法, 短期・中期・長期目標

7	公衆栄養マネジメント-2	公衆栄養プログラムの展開 公衆栄養活動と行政栄養士業務、 地域特性への対応	行政栄養士の活動と業務 (都道府県, 保健所設置市 および特別区, 市町村)
8	公衆栄養マネジメント-3	食環境づくりのためのプログラムの展開	食品表示法, 栄養成分表示, 特別用途食品, 特定保健用食品など
9	栄養疫学-1	栄養疫学の概要 疫学の手法	観察研究, 介入研究, 横断研究, コホート研究, 無作為割付比較試験
10	栄養疫学-2 わが国の栄養・食料政策-1	食事調査の方法と活用 わが国の栄養士・管理栄養士制度	食事記録法, 24時間思い出し法, 食物摂取頻度調査法 栄養士, 管理栄養士
11	わが国の栄養・食料政策-2	公衆栄養活動と関連行政・法規	健康・栄養行政 健康増進法・食育基本法・地域保健法など
12	わが国の栄養・食料政策-3	わが国の健康づくり施策の変遷 栄養・健康指導のガイドライン	健康日本21, 食育推進計画, 食生活指針, 食事バランスガイドなど
13	諸外国の健康・栄養政策	世界の健康・栄養問題の現状と課題 国際機関の健康・栄養政策、諸外国の 栄養士制度	ヘルシーピープル, マイブレート, SDGs, WHO, FAO
14	公衆栄養学のまとめ	単元のポイント(復習)と質疑応答	
15	学期末試験		

事前・事後学習の内容	事前に教科書にて学習内容を確認する。
成績評価の方法	提出物：10% *授業態度：10% 学期末テスト：80% *演習の取り組み態度, 忘れ物, 私語, 不必要な携帯電話の使用など 評価基準は合計 90 点以上：S、85～89 点：A+、80～84 点：A、 75～79 点：B+、70～74 点：B、65～69 点：C+、60～64 点：C、 59 点以下：D とし、D は不合格とする。 ただし、出席が 2 / 3 未満の場合は評価をせず不合格とする。
教材	エスカベーシック 公衆栄養学概論：同文書院 適宜、資料, プリントを配布する